

# 東北最大級のバイオマス発電施設が竣工

## 秋田産電力が生産開始

ユニテッドリニューアブルエナジー



平野久貴社長

秋田で産業廃棄物処理を進めるユニテッド計画のグループ会社であるユニテッドリニューアブルエナジー（秋田市、平野久貴社長、☎0188・838・4884）は、地域への経済効果などを目的にFITに基づき木質バイオマス発電事業を開始し、7月15日に竣工式を開催した。竣工式には秋田県副知事の他、関連金融機関や林業関係者など100人以上が訪れた。発電施設の出力は20・5<sup>メガワット</sup>、東北最大

東北最大級となる木質バイオマス発電所



級となる。総事業費が125億円となる巨大プロジェクトとなった本事業では、地元金融機関による融資の他、ユニテッド計画やフォレストエナジー、レノバナなどが出資し、「秋田産

電力」の生産を軸に、秋田県全域に渡る林業の活性化などを図る。使用する燃料は県内の未利用材と補助燃料のPKS（やし殻）。比率は未利用材が7割

に、秋田県全域に渡る林業の活性化などを図る。使用する燃料は県内の未利用材と補助燃料のPKS（やし殻）。比率は未利用材が7割

発電は蒸気タービン方式で、循環流動層式ボイラーを使用している。含水率の高い未利

る。発電施設の従業員は約30人となるが、20・5<sup>メガワット</sup>という大規模発電事業となるため、林業や運送業への大きな経済効果が見込めるという。

材が3割となる。未利用材の使用量は年間10万トンを超え、秋田港に近い立地はPKSの運搬にも有利となる。また電力はFITに基づき東北電力に売電する他、新電力会社にも販売する。

竣工式のあいさつに立った平野社長は「バイオマス発電事業では、林業関係者とコンセンサスを得ることが極めて重要であるが、本プロジェクトでは多くの林業関係者長きに渡り知恵を出し合い、多くの課題を乗り越えることができた。再エネ事業者の自覚を持って秋田産電力の生産を進めていきたい」と述べた。